

平成三十一年度 公募推薦入試問題用紙(小論文)

比較文化学部 比較文化学科

別紙の文章は、田中克彦「外国語における『差別語』は？」(『国やぶれてもことばあり』)の一節である。

この文章を読んで、

- ① 傍線部「ドイツ語の場合は、逆に区別を、言語の上に明示することによって、対等なようにという方向をとります」とあるが、なぜドイツ語はそのような方向をとったのか、百字以内(句読点等を含む)でまとめなさい。
- ② 日本語と他の言語とを比較しつつ、「日本語における女性差別」というテーマで、その現状と解消の方向性について、あなたの考えを五百字以内(句読点等を含む)で論じなさい。

*下書き用紙は清書とともに提出となります。

別紙については
著作権上の制約により
掲載することができません。